

かめやま教育通信

第33回



令和2年度からの新たな取り組みを紹介

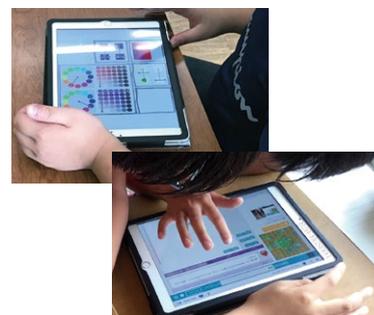
情報活用能力の育成 ～令和2年度からのプログラミング教育～

亀山市では、情報活用能力を育む情報教育を進めています。情報活用能力とは、人工知能などの新技術が進展してきた情報社会を生きるために必要な力であり、その力をつけるために新しくプログラミング教育が始まります。新学習指導要領には、情報活用能力は「学習の基盤となる資質・能力」の一つとして位置付けています。



プログラミング教育とは

プログラミング教育は、コンピューターに関する理解を深めたり、手順や組み合わせを考え、より良いものにしていくための論理的な思考を育んだりする教育のことです。プログラミング教育を行うことで、教科の学びをより深めることができます。



土曜日(休日)の授業実施について

現在、亀山市では、市内全小・中学校が午前中だけの土曜授業を各学期1回(年3回)実施しています。土曜授業では、家庭や地域と連携した授業や学校行事を実施するなど、「地域に開かれた学校づくり」を推進する良い機会となっています。しかし一方で、学校における働き方改革の面では、教職員の負担増につながっています。そこで、令和2年度から、土曜日(休日)の授業を次のとおり実施します。

令和2年度以降

土曜日(休日)の授業では、各学校が創意工夫した多様な教育活動を「地域に開かれた学校づくり」の視点から各学校の判断で実施することにします。その場合は、午前中のみとせず、振替休日を伴う授業日とします。

※土曜日(休日)の授業実施は、PTAや学校運営協議会、教育協議会との十分な協議を経て、各学校で活動内容や回数などを決定し、年間を通して計画的に行います(運動会、体育祭、文化祭を含む)。

※学校では、今後も平日の時間帯などを活用した補充学習に努めます。

問合先 情報活用能力の育成に関する問合先…教育委員会学校教育課教育研究グループ(☎84-5077)
土曜日(休日)の授業実施に関する問合先…教育委員会学校教育課教育支援グループ(☎84-5076)